

テープの輸送方法について

SONY

はじめに

貴重な資産である映像ソフトを輸送するにあたり、
万全を期すために最低限守って頂きたい項目について解説致します。

輸送推奨条件

磁気テープの輸送推奨条件

(ビデオ/オーディオカセット/オープンリール共通)

1輸送環境

温度:10 ~ 30 湿度:80%RH以下(結露しないこと)

2輸送前のテープの状態

テープの巻き飛び出し等、著しい巻き乱れがないこと。
もし乱れている場合にはVTR等で巻き直しをする。また、
テープトップまで巻き戻した状態であること。

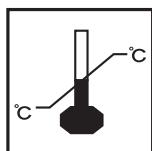
3テープの置き方

必ずハードケース等に入れる。
製品梱包状態(カートンに入っている状態)に準じ、縦方向に置く。
横置きで輸送する場合、絶対にカセットを逆さにしない。
やむを得ず横置きや、単体で輸送する場合は、緩衝材等で保護する。

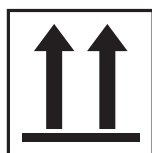
磁気テープの組成の一つであるベースフィルムは、温度によって物理的に変化する特性を持っており、低温では収縮し、高温では膨張します。従って温度の急激な変化(特に低温時)に輸送時の振動や衝撃が加わると、テープに「段」が発生したり、巻きが乱れる原因となります。また、同じくテープの組成の一部である潤滑剤も過度な温度や湿度によって化学反応を起こす場合があります。従って化学反応を加速させるような高温・多湿の環境は避けてください。

表示事項

ソニー製磁気テープのマスターカートンボックスに表示してある右上図のマークは、テープが未使用の状態に輸送・保管される際に許容される温度の範囲を示しています。使用済のものに関しても同様の条件にて輸送・保管されることを推奨致します。

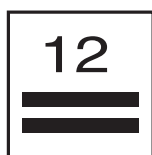


右中図の表示はソニー製磁気テープ出荷時の未使用テープが収納されている状態での「カートンボックスの強度」、「内部テープの保護」を目的として表示されています。ご使用後に様々な大きさのテープが収納された場合にはこの限度は異なります。



上下方向指示
輸送・保管時に常に
上下方向を守るもの

ソニーが出荷時に使用しているカートンボックスは、それぞれのテープが輸送に適した方向で収納されるように設計してありますので、輸送の際にもぜひお役立てください。



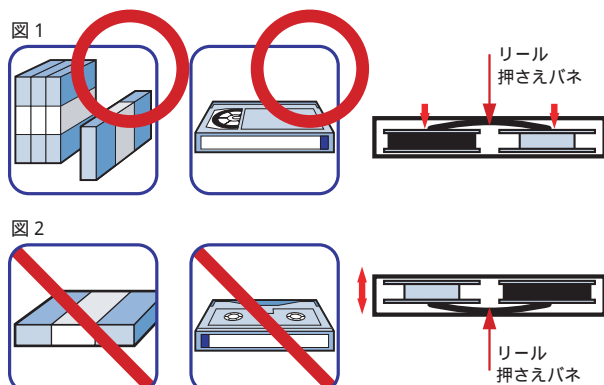
積段数指示
最低保証積段数
(例:12と表示されている場合には12段まで重ねられます。)

輸送中のテープの状態、 テープの輸送方法について

テープの巻きに飛び出しがある場合、振動によってその部分がリールに接触し、ダメージが発生させる場合があります。ダメージが発生するとその部分は永久に変形してしまい、元に戻らなくなりますので注意が必要です。もし、輸送前に飛び出しに気付いた場合は、VTR等で巻き直しを行なってください(巻き直しは、低速の方が整巻きしやすい)。

輸送中のテープの置き方

1必ずハードケース等に入れてください。このことによりカセットを外部の衝撃から保護することができます。
2輸送する際はできるだけマスターカートンに入れて「縦置き」して さい横置きにする場合は、緩衝材等で保護し、絶対にカセットを逆さにしないでください。



図はベータカムカセットの例

通常の方法で輸送された場合、図1の様に「リール押さえバネ」がリールを固定していますが、図2の様にカセットが上下逆さになった状態で輸送されると、リールが振動等によりカセットシェル内で動いてしまい、テープのエッジにダメージを与えたり、ドロップアウトが発生する原因となります。

最後に

これまで述べたような基本的な内容を守っていただければ、輸送時におけるトラブルの大半は防止することができます。貴重な映像ソフトを保護するためにも万全の対策を講じることをお勧め致します。